

## 第1回 帆船日本丸保存活用検討委員会

開催日時：平成22年2月17日（水） 午後2～4時

場 所：日本丸訓練センター 第3会議室

出席者：（委員）

金谷委員、嶋田委員、庄司委員、高見沢委員、山本委員  
（オブザーバー：財団法人帆船日本丸記念財団）

遠藤副会長・横浜みなと博物館館長、山本帆船日本丸船長  
（事務局：横浜市港湾局）

みなと賑わい振興部賑わい振興課

金網部長、小賀野課長、小池係長、山田、辻  
施設課

矢野課長、大橋係長、三枝木、坂本

次 第：1 帆船日本丸見学（所要時間：約20分）

2 議題

（1）委員長の選出

→ 互選の結果、委員長は庄司委員に決定

（2）帆船日本丸の現状の評価（価値）

（3）今後の帆船日本丸の活用、それに合わせた保存をいかにすべきか

→（2）、（3）に対する各委員の意見等は、次のとおり

### 各委員の意見等について

●昔マリンスクールに参加した子が、今リーダーになり、総帆展帆のボランティアになるという状況が生まれてきている。日本丸は青少年育成に随分大きな役割を果たしている。

●港湾局と教育委員会が組んで様々な事業を実施することも考えられるのではないかな。

●海だけではなく、船があり、港の機能を見ることができるところが横浜の魅力。日本丸は、市民に愛され、多くの観光客が訪れ、市民の方がボランティアをしているという、うまい施設。非常に市民にとっては、場所が良い。

●日本丸は係留されて25年経っている。船の寿命は約20年。だから、建造されて80年の日本丸が現存していることは、すごいことだ。

●同じような良い施設（氷川丸）が横浜市にあるのだから、残すという目的を持って進めないかな。

●船員の養成ということで、非常に限られた人たちにしか知らない世界。一部の人しか知らない。普通の人思い出を作れるような仕掛け、自然にそうなるようなものがないと、一部の「大切に。」と思う人だけの世界になってしまう。

●「全ての市民が小さな頃に体験し大人になる。」というようにしないと、歴史的なものは非常にはかないものになるかもしれない。子どもの教育など新たな物語を作らないと、修繕できても長続きしない。

●古い関内と新しい場所にあるという点、セッティング上はとても良いが、どうも遠い。行きづらい。外から見えづらい。駅からは近いが、桜木町からの見え方が悪い。何か意図を持って行かなければならない場所になっているのではないか。

●風景は良いと言われているが、そこだけに頼っていたのでは、支持は得られない。歴史的なものを残すためには、一部の支援だけではなく、大勢の支援がないといけない。そのため、支援者を増やすための活動が必要だ。

●保存が150年、200年可能であればまた違う。可能にするためには、一部妥協し、別の材料を使ってでも、記憶として残すべきだと思う。

●マリンスクールの子どもたちは、日本丸に泊まれるとか、使い方について25年の間に分かっている。日本丸を「使ってください。」ということをもっとアピールするべきだ。

●横浜マリインタワーはリニューアルにより、多く人が来るようになった。もし、日本丸もきれいに艦装し直すなど、誰もが分かる変化によりお披露目するという機会があれば、人々の記憶をもう一度掻き立てられるというようなことがあるのではないか。

●日本丸は船内も見ることができるということを知らない方が多いのではないか。

●日本丸のほうに、自動車道から直接入ることのできるような工夫が必要。クィーンモールからの流れを作って、自動車道まで行かせるという案もある。再整備計画をコンペ方式で行い、どうしたら見てもらえる空間になるのか、民間にまかせた方が良い。

●冬の寒い時に客がほとんどいない。人は歩いているが、雨の日にこんなところに来る人はいない。あまりにも隔絶とした感じの場所になっている。

●総帆展帆の時の、人の流れ方というのはすごい。

●氷川丸やマリインタワーと違って歴史が見えにくい。ドックもアピールが足りない感じがある。自動車道とかとつなぎ合わせると日本の近代港発祥地だということなどが分かるが、演出が難しい。

●ビルの手前にこういうもの（日本丸）があること自体が、シドニーやバンクーバーと同じように、海の街という雰囲気は出ている。

●大学でも説明などは授業で行い、それを聞いた上で実物を見てみると、印象深く見ることができるといことがあるので、足を運ぶということは良いと思いつている。

●子どもにとって、1回体験することは非常に大事だ。もっと小学生の体験場として、日本丸を使うことができるようにならないか。

●日本丸を誘致する時に、「青少年育成活用に日本丸を使います。」と教育委員会が言ったにも関わらず、今は全然知らないのではないか。

●ロンドンのカティースークのように、常に人の目に触れるようにする。ロンドンマラソンがあ

ると、カティークの周りを走る光景が世界中に放映される。

- 日本丸における体験が小学生にどのような教育効果があるか、実証的データを示し、訴えてみる。
- 船の喫水線は波がピシャピシャあたるので、1番劣化しやすく危険だ。10億円確保できるならば、修繕すべきだ。修繕は避けては通れない。
- 歴史として、古い船の価値というものは登録できないのか。
- 10億円単位の修繕にあえて国民を巻き込んでみる。「日本丸はこうやってみんなに支えられました。」というようになると良い。
- マスコミを巻き込んでみるというのも必要だ。